



# 知っていますか？ シックスクール

子どもの環境を考える親の会  
連絡先 0134(25)1182 or(27)5100  
e-mail sato-jin@star.odn.ne.jp  
No.75 2010年6月  
会報は皆さんの会費によって作られています。  
郵便振替 02760-4-77134 1100円/年



## 安心な魚 食べていますか？



中国海洋環境質量公報によると、09年の中国海域内での水質汚染面積はおよそ14万7千km<sup>2</sup>に達しているといわれています。主な汚染物質は無機窒素、可動性リン酸塩や石油類で一部の海域には重金属や石油類が沈殿し、特に貝類の汚染が目立つそうです。『中国日報』によると、生息している貝類に残留する汚染物質は、鉛、カドミウム、DDT、殺虫剤などが含まれていて、中でも鉛の残留量は基準値を50%も超えており、カドミウムとDDTの残留量も基準値の40%以上だと伝えています。

さらに、川から海に流れ込む汚染物質の量も増加し、観測を実施している457カ所の下水口のうち、73.3%で基準値以上の汚染物質が海に流れ込んでいたそうです。気になるのは、海のゴミの量はそれほど多くないのに、大気から重金属が流入する量が増加傾向にあるということです。

さて、近海魚は湾岸や沿岸で取れるため、工場排水や農薬、ダイオキシンなどに汚染されている可能性が高く、養殖魚はいけすの中で大量に飼われるため、病気の発生を防ぐ抗生物質などが使われることもあり、残留の不安があります。

では、汚染の少ない魚はどんな魚でしょうか。それは、回遊魚です。回遊魚は、季節ごとに移動するため、化学物質の汚染が少ないそうです。例えば、さけ、さば、サンマ、タラ、かつお、アジなどです。カレイは近海魚ですが、脂質がほとんどないので、化学物質汚染の心配は少ないそうです。回遊魚でも、干物にするとダイオキシンなどの残留物質の濃度が高まるので注意が必要だということです。



## 風車による健康への影響 調査開始 環境省



環境省は、『三崎ウインド・パワー』（伊方町三崎）が営業運転している風力発電で、風車近くの住民16戸約40人から「夜眠れず頭痛や耳鳴りがする」という訴えを受け、県に委託して調査を行いました。その結果、工場や高速道路の騒音と共通する騒音・低周波音が測定されたそうです。この調査では、31・5ヘルツという人の耳には聞こえない低周波音や、160～200ヘルツの騒音とされる音も高い数値を示したそうです。

風力発電の風車は、09年3月末時点で40都道府県に1517基が設置されていますが、全国各地で健康被害の訴えが相次いでいます。そのため、環境省はこの4月から、全国の風力発電施設や風車の近隣住民を対象に、風車が人体にどのような影響を与えるか4年間かけて因果関係を詳しく分析する予定だということです。低周波は、一般的な音とは違い、防音工事を行ったり、窓を閉めたりすると他の音が消され、低周波音だけを強く感じてしまうようです。低周波の影響が及ぶ範囲は周囲約3kmとされています。

風力発電計画を取材し『ストップ！風力発電』を出版した鶴田由紀さんは「風車の低周波は、欧米でも多くの方が苦しんでいる。国は現状を受け止め早急に対策を」と訴えています。

低周波音による被害は、①建具や窓のがたつき等物的影響、②圧迫感、振動感等の心理的影響、③頭痛、耳鳴り等の生理的影響、④睡眠妨害等が挙げられています。



## 国産の乾燥野菜から残留農薬検出



北海道消費者協会の調べによると、札幌市内のスーパーやデパートから購入した国産・外国産乾燥野菜21品目中2品目の国産野菜（大根菜、干し菊）からピレスロイド系殺虫剤が検出されたそうです。ただし、基準値以下。21品目には中国、アメリカ、タイなどの商品もありましたが、これらからは不検出だったそうです。国産でも安心できません。

厚労省によると、ポジティブリスト制度施行後から残留農薬の違反件数が急増しているようです。



## 消費者をバカにしたアタックネオ



P&Gのさらさに続いて「地球に優しい」「水や時間が節約できる」そんなうたい文句で登場したのが花王のアタックNeo。どこがエコなのでしょう。表示どおりに使えば確かにすすぎは1回なので、水の使用量は減りますが、あとは、体にも環境にもとても悪い。アタックNeoの成分が従来のアタックと違うのは、界面活性剤の量。（Neoは全体の74%。アタックジェルは24%）。単に「濃縮」し、表示の書き方を変えているだけで中身は何も変わらないのがアタックNeoです。濃い液体を安定した液体の状態でおけるというのは、何らかの化学物質を使っているからだそうです。成分のひとつのLASは魚介類やプランクトンに悪影響を与えます。LASは、家庭から出る有害物質のワースト1（03年）に挙げられているのです。つまり、いくら節水しても、合成洗剤なので、環境に優しいとは言えません。香料入りでニオイます。



## 『母親になるための環境』第1位はノルウェー



『母親になるための環境が整っている国』の調査結果が国際援助団体セーブ・ザ・チルドレンによって発表されました。160か国中1位は、ノルウェー。国会議員の女性比率の高さや男女間の賃金格差の少なさなどが評価されたそうです。次いでオーストラリア、アイスランド、スウェーデンなどが続き、日本は32位。米国は28位。米国の順位が低い理由は、産婦死亡率の高さ、5歳未満児死亡率の高さ、就学前教育就学率の低さなどで、ちょっと意外ですが育児休暇の長さや産休制度の充実度は、先進国中では最下位だそうです。判断基準は、5歳未満の子どもの死亡率や初等教育への就学率など7項目の「子ども指標」、女性の平均余命や産休・育児制度など8項目の「女性指標」をそれぞれ数値化し、計15項目の総合を「母親指標」としているそうです。

皆さんも実感されているように、日本は、女性が働きながら子育てをする環境はまだ不十分。



## 教職員のアスベスト被害に初の労災認定



滋賀県内の公立小学校に勤めていた56歳の男性教諭が02年中皮腫で死亡したのは、体育館の天井から飛散したアスベストを吸ったためであると、公務上災害を認定されました。

男性は28年前に3年間町立小学校で体育を教えていました。体育館は使用頻度が高く、天井にボールが何度も当たり、相当量のアスベストが飛散し、床に落ちたアスベストも再飛散していたといえます。教職員が学校でのアスベスト被害で公務上認定を受けるのは全国初です。

大阪じん肺アスベスト弁護団の山上弁護士は「石綿は1960～70年代に多くの学校で使用されており、当時の教職員や子どもたちにも今後、発症の可能性がある」と話しています。

環境省によると、平成18、19年度に石綿健康被害救済法の認定を受けた被害者や遺族に調査したところ、死亡している人を含めた被害者788人のうち、約1割にあたる78人が教諭だそうです。



## 携帯基地局設置前に説明会を義務付ける条例



携帯電話・PHS中継基地局の設置そのものを規制する力はありませんが、事前に住民説明を課す条例が、鎌倉市で成立し4月から施行されました。

電磁波による健康被害について国は否定的な見解を示しているため、「国が安全とするものを、独自の基準を設けて排除することはできなかった」と自治体での限界はありましたが、市民団体は「少なくとも、知らない間に基地局が建つことは防げ、住民の不安軽減には資する」と評価しています。

市が条例を作ったきっかけは、自宅近辺に基地局が建てられて以降、頭痛やめまい、吐き気などの症状に悩まされてきた人がいること。そして、市民団体が、「予防原則の観点に立ち、自治体としてできることを」と市や市議会に働き掛けてきたからです。条例には、子ども関連施設には「特別な配慮」が必要との規定も盛り込まれ、小中学校や保育園、幼稚園、学童施設など7種類を施行規則で定めたということです。このような条例が全国の自治体に広がるのが、第一歩ですね。